

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む
具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	
	1	6	身体拘束、及び高齢者虐待の意味については殆どの職員がほぼ理解していると思われるが、定期的な研修が行われておらず、全職員がすべてを理解しているかどうかについては課題点が残る。	定期的な施設内での職員研修を行い、全職員が現状のケアの中で身体拘束をしない事の意味を正しく理解できる様取り組んで行く。	新年度に職員研修計画を作成する時点で最低年1回の研修日を設ける。又、職員会議や、ユニツ会議、担当者会議の中でも疑点を出して貰ったり、解りにくい事例等については質問等を通じて、個々の解釈ではなく、統一したケアとする。なお、12月に身体拘束と高齢者虐待の研修を施設内で行う事とした。	3か月
	2	40	食事作りについては利用者様も参加され、職員が作っているが検査と言う正式な評価はしておらず作った料理の味見を作った職員が行う事で他の職員が味や食感の意見を記録に残すと言われいていなかった。又、利用者様に対する食立の説明が不十分であり、今、食えているものが何で有るか職員によって伝えたり、伝えなかったり有った。	利用者様に毎食の献立を分かりやすく説明をして食事を楽しんで頂く事と、検査を行う事で献立のパラリンや高齢者に取って食べやすさなどを職員が意識することにより良い食事作りをして行く。	1日の生活の中で食事は楽しみの一つで有るが食と言うものの基本や栄養の基礎については独自で行っていて不安感を持つ職員もいたの8月には外部から管理栄養士を招いて初めての施設内研修を行った。又検査について方法等含め実施の方向で検討する。又、当日の献立を大きくわかりやすく提示した上で口頭でも説明を行う様にした。	1か月
	3				ヶ月	
	4				ヶ月	
	5				ヶ月	

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。